



筑波学院大学

TSUKUBA GAKUIN UNIVERSITY

対談特集

筑波学院大学学長 大島 慎子さん × 観光庁長官 田村 明比古さん

居心地の良い環境整備が重要



おおしま ちかこ／国立大学法人筑波技術大学監事 早稲田大学修士課程、千葉商科大学博士課程修了。ルフトハンザドイツ航空客室乗務員担当、広報室長を経て2006年より筑波学院大学教授。12年より現職。専門は航空・観光政策。茨城県私学審議会委員。国土交通省航空局安全部会委員。つくば市まち・ひと・しごと創生有識者議会委員。JN観光情報協議会理事長。

観光産業の育成・強化へ



たむら あきひこ／1980年東京大学法学部卒。同年に運輸省入省。在アメリカ合衆国日本大使館参考官。運輸省運輸政策局観光部旅行振興課長、福岡県企画振興部理事、国土交通省航空局監理部統務課長、同省大臣官房審議官、同省鉄道局次長、同省航空局長を経て、2015年9月觀光厅長官に就任。



大島 観光客受け入れ体制とインフラ整備の宿泊施設不足なリアフリーも含環境整備に関する題があると思ひが。田村 インフラ整備としては、空港でLCCターミナルが開業され、新宿南北に高速ターミナル「バ

キーワードは「地方」と「消費」

ための指針となる「明日の日本を観る」と題する観光ビジョン」を今年3月に策定しました。この中で、訪日外国人旅行者数と訪日外国人旅行消費額がそれぞれ、2020年に4千万人、8兆円、2030年に6千万人、15兆円という目標を立てています。

「観光ビジョン」は「地域の資源を最大限に活用して、より多くの旅

に、北関東の東部でもある
豊かな農産物・水産物にて
恵まれた多面性を感じられま
す。日本では当たり前の田
園風景は、日本の目録で見
えられる晴暖のい日本の「和
文化」とそのまま。それら
を極めていけば、インバウ
ンドは増えないのではないで
ど、いかと思います。最近話
題の宿泊者数ですが、
大都市での客室稼働率は年々
増加傾向にあります。一方で、
小都市の客室稼働率は年々
減少傾向です。宿泊の需
求率的にはまだ余裕があり
ますので、分散させるこ
とすれば大きなものでもな
いかと思います。

アデザイン 情報デザイン

**記事左上のロゴマークには特典コンテンツ(AR)が
ついています。お持ちのスマホやタブレットを使って
アクセス!**

- ① 専用アプリ「COCOAR2」をダウンロードして下さい。(無料)**

iPhone/iPadから  Androidから 

② 「COCOAR2」起動後、本紙中のロゴマーク  に合わせてかざして下さい。

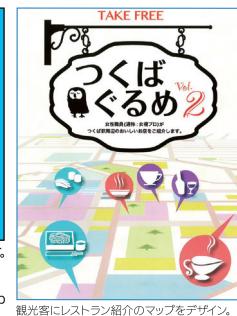
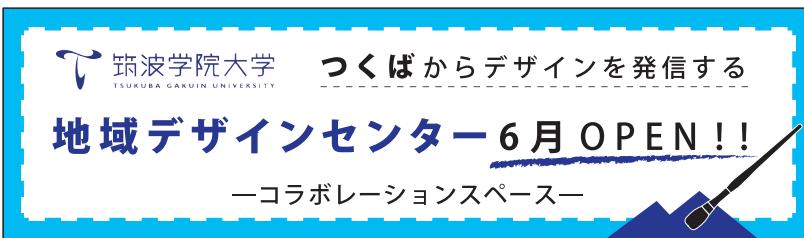
アプリを起動してロゴマークを枠に合わせるようにかざしてスキャンします。認識すると動画が表示されます。また、画面上のバーをタップするとホームページが表示されます。

平成28年度 ビジネスデザイン学科発進! ビジネス
マネジメント

グローバル
コミュニケーション

メディアデザイン 情報デザイナー

スヌメミライへ
TSUKUBA GAKUIN GUIDE Vol.31



地域デザインセンターは、Community Design Center(CDC)として市民と学生が協働し、地域を元気にするアイデアやプロジェクトを創出します



筑波学院大学
TSUKUBA GAKUIN UNIVERSITY

経営情報学部 〒305-0031 茨城県つくば市吾妻3-
TEL 029-252-4211(代市) FAX 029-252-7002

<http://www.tsukuba-g.ac.jp>